

プラス記事 6%減、ニュートラル・マイナス記事 22%増

トヨタ、生産回復で3カ月ぶりトップ3 ソニーが電気自動車の試作車を公開

7月度のプラス評価は64億401万円、ニュートラル・マイナス評価は32億5572万円だった。前月と比較するとプラス換算値は6%減、ニュートラル・マイナスは22%増だった。7月は自動車販売台数や人物の話題などで換算値を伸ばし、4社がランクインした。また、AI活用やスパコンなど「技術」が取りあげられた企業の上昇も目立った。

3位トヨタ自動車は3カ月ぶりにトップ3に復帰した。8月の国内生産台数を当初計画比の97%にまで回復させると発表し、22日の全紙が記事化した。新型コロナウイルス感染拡大で稼働休止を続けていた南米の全工場の再開も明らかにし、約5カ月ぶりに世界で通常稼働に復帰することが注目された。また、31日には2020年上半期の世界販売台数で6年ぶりに首位となったことが報じられ、「想定を上回るペースで回復している」との同社のコメントを各紙が掲載した。

そのほか自動車では、元ラリードライバーの篠塚

建次郎氏が読売の「時代の証言者」に登場した三菱自動車工業が2位、米国市場での時価総額がトヨタを超えたテスラモーターズが11位、新型SUVとブランドロゴ刷新を発表した日産自動車が14位にランクインした。

12位ソニーは電気自動車の試作車『VISION-S』を公開し、日経・朝日・毎日が28日に取りあげた。同社が自動車を開発する背景について、日経は「主力事業である画像センサーや、映画・音楽といったエンターテインメント事業にとって、自動運転車が無視できない存在になってきた」と解説した。

7位富士通は2カ月連続のトップ10入りとなった。新型コロナの感染拡大を受け、国内グループの社員は原則テレワークとする「ニューノーマル」対応型の新勤務形態を発表した。そのほか、スパコンの世界ランキングで1位となった『富岳』を、日経が3日の「ニュースな科学」、朝日が7日の「いちからわかる!」で取りあげた。

プラス記事掲載ランキング

換算値:千円

順位	企業名	換算値	主要な掲載要因
1	JR東日本	168,552	新宿駅の東西自由通路が開通。高輪ゲートウェイ駅で構内消毒ロボの実験。
2	三菱自動車工業	154,805	読売「時代の証言者」に元ラリードライバーの篠塚建次郎氏が登場。
3	トヨタ自動車	154,358	8月の国内生産台数が当初計画並みに回復へ。「生産」22%、「販売」21%。
4	ツイッター(米)	111,125	学生の学校に関するツイート約4億件をNTTデータが分析し、読売が特集。
5	全日本空輸	109,117	フィギュアスケートの羽生結弦選手の写真展を読売新聞オンラインで開催。
6	伊藤忠商事	100,571	ファミリーマートにTOBを実施、完全子会社化へ。「提携・合併」54%。
7	富士通	96,914	勤務形態を原則テレワークに。スパコン「富岳」を日経と朝日が特集。「人事」38%。
8	任天堂	90,514	読売が「ポケモン帰ってくるよ!スポーツ大百科」を掲載。「商品」99%。
9	日立製作所	87,724	中西宏明会長の経団連フォーラムでの提言を読売が掲載。「人」56%。
10	アップル(米)	83,353	「iPhone」新機種に有機ELパネルを採用すると日経が報道。「生産」50%。
11	テスラモーターズ	82,902	1日の米国市場で時価総額22兆円超となり、自動車ではトヨタを抑え世界一に。
12	ソニー	78,235	EVの試作車「VISION-S」を公開、2020年度内に公道実験開始へ。
13	グーグル(米)	77,072	日経「働き方innovation」で人事制度を紹介。「人事」39%、「商品」15%。
14	日産自動車	72,666	新型SUV「アリア」を公開。19年ぶりのブランドロゴ刷新も同時に発表。
15	NEC	72,475	マスク着用での顔認証やAIを活用した各世代向けビール開発など「技術」27%。
16	セブン-イレブン・ジャパン	69,850	産経「話の肖像画」で鈴木敏文HD名誉顧問が開業当時の様子を紹介。
17	ファミリーマート	68,415	TOBにより伊藤忠の完全子会社に。コンビニ大手3社で共同配送実験へ。
18	JR東海	66,621	朝日「凄腕しごとにん」に輸送主任の中本清貴氏が登場。「社員」47%。
19	ビックカメラ	62,359	ソフトボールの上野由岐子選手が朝日と読売の東京五輪記事に登場。
20	オリエンタルランド	61,366	東京ディズニーランドとディズニーシーが4カ月ぶりに営業を再開。「販売」80%。